

国道2号姫路バイパスのあゆみ

あゆみ

- 姫路市内の著しい交通混雑解消と将来の交通需要増大に対応するため計画されました。
- 全区間を1期・2期・3期に分けて工事し、1975年（昭和50年）12月に全区間が開通しました。
- 以来、加古川バイパスを通じて播磨地域と京阪神を結ぶ幹線道路として重要な役割を果たし、2020年（令和2年）12月に供用開始から45年を迎えます。

1966年
(昭和41年)

事業着手



混雑する国道2号
(姫路市今宿交差点)

1970年
(昭和45年)

第1期区間
(姫路東〜中地)

1971年
(昭和46年)

第2期区間
(高砂北〜姫路東)

1972年
(昭和46年)

第3期区間
(中地〜太子東)

1973年7月
(昭和48年)

第1期区間
供用開始



暫定供用した第一期区間
(姫路市北原付近)

1975年12月
(昭和50年)

全線供用開始

1985年12月
(昭和60年)

全線4車線化が完成



工事が進む姫路南ランプ
(姫路市飾磨区野田地先)

1990年3月
(平成2年)

姫路東〜姫路大橋東詰
6車線化が完成



6車化が完了
(姫路東ランプ付近)

2020年12月
(令和2年)

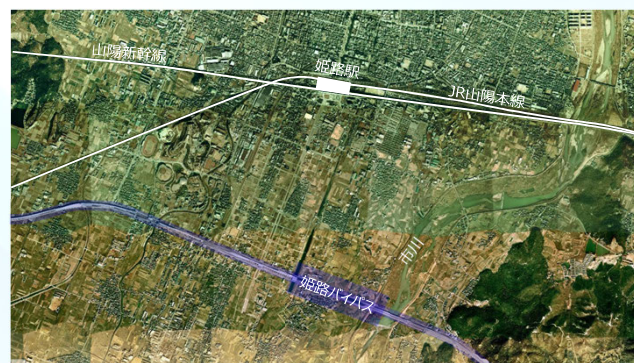
供用開始四五年

沿線の変化*

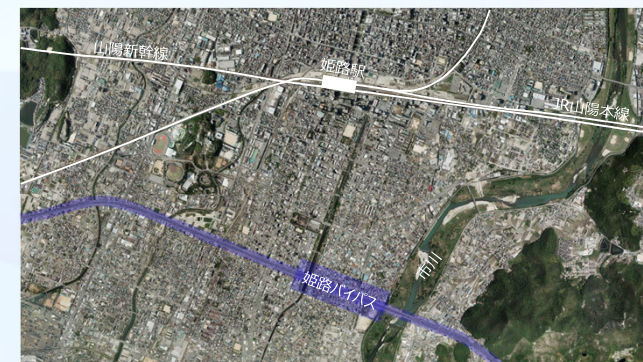
- 姫路市街



1960年代



1970年代



2000年代

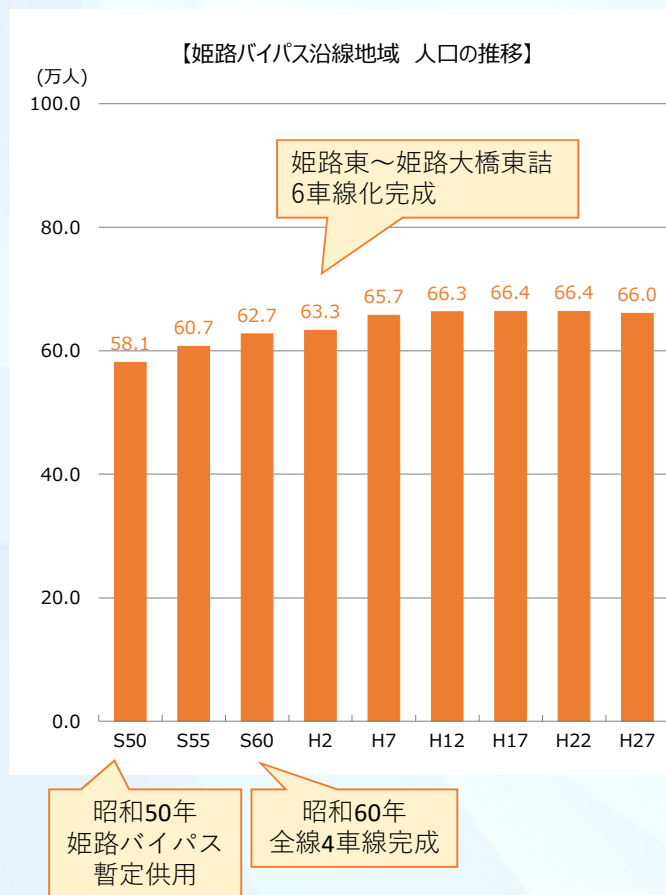
*地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) より

国道2号 姫路バイパスのあゆみ

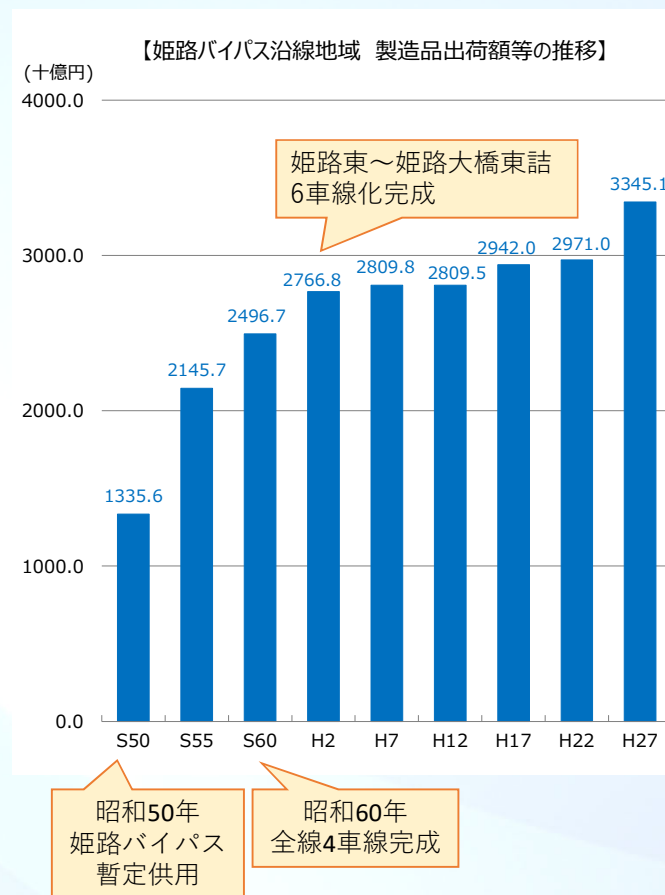
整備効果

- 供用開始から沿線市町の人口は増加
- 製造品出荷額等は大幅に増加

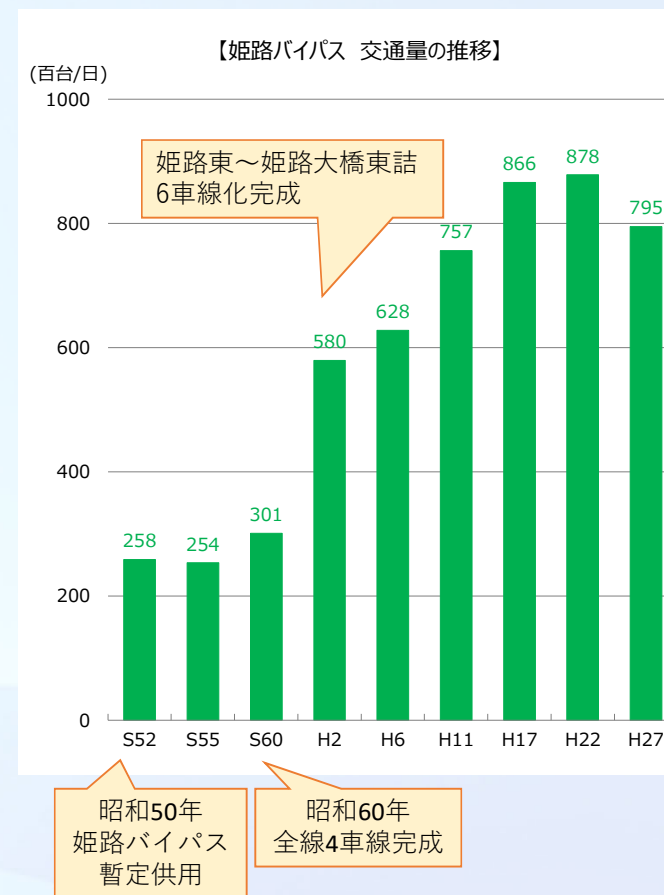
■ 沿線地域の人口



■ 沿線地域の製造品出荷額等



■ 姫路バイパスの交通量



観測地点：姫路市広畑区西蒲田